

民間開発支援(PDA)の量的把握調査の進捗状況について

民間による途上国への開発支援(PDA: Private Development Assistance)が、ODAや国際開発機関とも連携しながら年々その規模や影響力を増す中で、未だその情報は断片的であり、規模や効果などに関する包括的な実態は明らかになっていないとは言えません。

一般財団法人CSOネットワークでは、民間開発支援(PDA)の量的把握を国際的に進めている Hudson Institute, Center for Global Prosperity の手法に沿い、PDAを以下の6つの分野に分け調査を進めています。

- ① 財団 ② NGO ③ 企業 ④ ボランティア時間 ⑤ 大学 ⑥ 宗教団体

	団体数等	PDA総額
①財団	228団体 8885件 研究助成 44団体 441件 事業助成 29団体 352件 留学生支援 155団体 8092件	8,287,309,000 (82億8730万円) 289,952,000 2,268,965,000 5,728,392,000
②NGO	273団体+2団体	23,115,431,337 (231億1543万円)
計	503団体	31,402,740,337 (314億274万円)

*財団 事業助成の中にジャパン・プラットフォーム 18億円含む

☞Yamauchi & Mekata (2000) Cross-border philanthropy と比較

- ① 財団：100億円弱 (財団規模上位20団体のPDAを50%として推計：48億円×2)
- ② NGO：216 million US\$ (IMF International Financial Statistics, DAC Development Corporation)

☞Adelman氏の講演資料参照 民間による開発資金は5億ドル

